

千曲市雨水管理総合計画（雨水管理方針）（案）に関する意見募集の結果について

1 パブリックコメントの概要

（１）募集期間

令和 7 年 1 月 30 日（木）から令和 7 年 2 月 28 日（金）

（２）意見書提出状況

ア 提出者

1 人

イ 意見の提出方法

（ア）持参	1 通
（イ）電子メール	0 通
（ウ）ファックス	0 通
（エ）ながの電子申請	0 通
（オ）郵送	0 通

ウ 意見提出件数

3 件

2 意見及び市の考え方の公表

貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。千曲市パブリックコメント手続き実施要項に基づき、いただいたご意見に対する市の考え方を公表します。

なお、取りまとめの都合上、提出された意見は一部要約しています。

No.	項目	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	第1章	「1.1 背景」及び「1.2 計画策定の目的」について 千曲市に於いては過去に水害の被害を受けたり、水害直前までいったケースが多々あるので、それらを検証してどこに問題があったのかを洗い出し、明記すべきではないか。	P 1 に記載の本計画策定の背景と目的につきましては、背景として、近年の気候変動に伴い全国各地で多発する浸水被害への対応を図る目的で、平成27年に下水道法などの法改正が行われ、国より「雨水管理総合計画策定ガイドライン（案）」が示されたこと、また、目的としましては、これまで一律で進めてきた下水道（雨水）整備に関し、浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備の方針等を当面・中期・長期の観点で整理し、下水道（雨水）による浸水対策を計画的に進めていく旨を記載しております。 なお、内水氾濫における浸水被害の検証につきましては、各排水区の水路等の整備状況や土地利用状況、地盤高さなどを踏まえ実施した浸水シミュレーション結果に基づき、今後浸水要因の洗い出し等を行い、浸水被害を解消するための具体的な浸水対策事業を定める段階的計画を策定し、必要な整備を行うこととしております。
2	第1章	「1.4.4 公助・自助・共助」について 地域で同時発生（多発）する災害に対応するために、共助に「地域防災組織の構築」を記入すべきではないか。	P 5 の共助欄に記載の「地域防災力の向上」とは、第三次千曲市総合計画のP 35の「1-1-1災害に強いまちをつくる（1）地域防災力の向上」を指しています。 「（1）地域防災力の向上」では、「区・自治会単位で、地域を守る自主防災組織の体制を強化する」と記載しており、ご意見にある「地域防災組織の構築」と同義であると考えます。
3	第5章	「5.3.1 重要度判定結果」について 区の浸水実績がこれまで無かったわけではなく、稲荷山自衛団及び長野市の水防活動により浸水が回避されている。（概ね2年に1度の水防活動を実施している） 重要度判定で「45治田小学校排水区」が20位で、「47黒川排水区」が19位となっており、単純に場所の比較でみてもあり得ない考える。黒川排水区の順位はもっと高いと考える。	P 35 の重要度判定結果については、P 29 の評価指標項目（表5.1）を47排水区ごとに集計して評価しています。 重要施設箇所数（避難所や医療機関など）が多いほど該当する排水区の重要度は高くなりますが、排水区それぞれの面積が異なるため、「単位面積当たりの評価点（各排水区に存在する評価指標の合計点を各排水区面積で除した値）」を算出し、順位付けを行っております。評価指標の評価点が同程度だった場合、面積の小さい排水区の方が点数は高くなります。 ご意見にある治田小学校排水区的面積は4.00ha、黒川排水区的面積は151.90haであることから、お示した順位となっております。